

CMI 株式会社

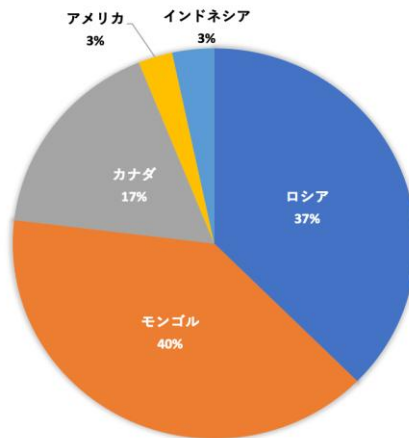
横浜市鶴見区東寺尾中台20-3-301

お問合せ電話：+81-45-717-8575

5月、モンゴルからの原料炭輸入が急増

中国では5月の原料炭輸入量が456.5万トンで、前月比では7.25%増、前年比では33.8%増だった。

5月の輸入では、モンゴルからは180.2万トン、前月比37.77%増、前年比125.29%増となった。ロシアから171万トン、前月比0.17%増、前年比62.25%増となった。



出典：中国石炭資源網

図1 5月の国別原料炭輸入割合

4月中旬から、コロナ感染の影響が縮小され、中国国内の石炭価格の上昇などでモンゴルからの石炭輸出が増加している。モンゴル石炭協会関係者は、今年の輸出量を3,000万トン以上としているが、その実現はまだ不確実である。

2021年はコロナの影響で頻繁に中国とモンゴルの貿易港閉鎖が起きたため、原料炭の大部分を中国に輸出していたモンゴルの輸出量は1,594万トンに減少し、2019年の半数以下となった。

中国政府は2022年5月～2023年3月まで石炭輸入関税をゼロにすると発表した。中国の石炭輸入先はインドネシア、ロシア、モンゴル、カナダ、フィリピンなどだが、そのうち、東南アジア諸国連盟（ASEAN）加盟国はすでに関税免除されていたため、今回の措置によりロシア、モンゴルからの輸入がさらに拡大するとみられている。

ロシア産の石炭は価格が安いですが、輸送力不足や複雑な決済など6月1日から鉄道輸送費用が引き上げられる。そのためロシア産石炭の輸入コスト増が予想されている。

情報源：中国石炭資源網より整理作成。